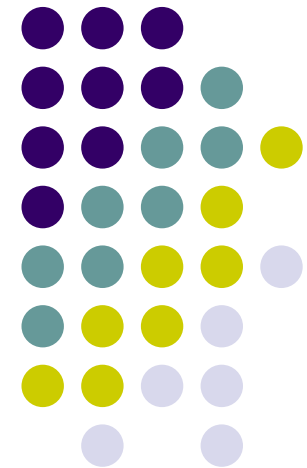
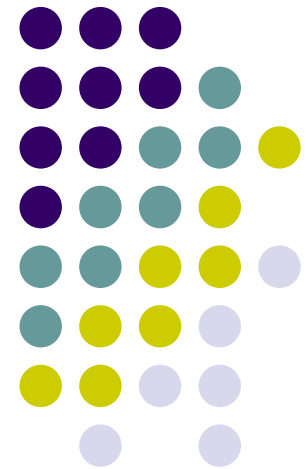


# 2009年度 第2四半期 決算説明会

2009年10月28日  
東京ガス株式会社



# 決算概況



# 2009年度 第2四半期決算



## 減収増益決算（対前期実績）

- ガス販売量：景気低迷・気温影響等により全分野にて減少
- 売上高：原油価格低下・円高・ガス販売量減に伴い減少
- 営業利益：原材料費減に伴い増益

	2009年度 第2四半期	2008年度 第2四半期	増減
都市ガス販売量(45MJ/m <sup>3</sup> )	61.7億m <sup>3</sup>	67.3億m <sup>3</sup>	▲5.6億m <sup>3</sup>
売上高	6,320億円	7,400億円	▲1,080億円
営業利益	464億円	▲95億円	+559億円
経常利益	505億円	▲114億円	+619億円
当期純利益	327億円	▲16億円	+343億円

(スライドタイムラグ)	+216億円	▲456億円	+672億円
-------------	--------	--------	--------

経済フレーム	原油価格(\$/bbl)	為替(円/\$)	気温(°C)
FY09 2Q	61.8	95.5	22.4
FY08 2Q	119.7	106.1	22.1

# 2009年度 業績見通し



減収増益見通し（対前回見通し）

- ガス販売量：工業用・卸は上方修正、家庭用・業務用は下方修正
- 売上高：景気低迷・新設件数減によりガス・受注工事・ガス器具セグメントで減少
- 営業利益：ガス粗利減・固定費減で変更なし

	今回見通し	7/30見通し	増減	09年3月期実績
都市ガス販売量(45MJ/m <sup>3</sup> )	135.0億m <sup>3</sup>	133.9億m <sup>3</sup>	+1.1億m <sup>3</sup>	139.4億m <sup>3</sup>
売上高	14,070億円	14,140億円	▲70億円	16,601億円
営業利益	720億円	720億円	0億円	652億円
経常利益	720億円	640億円	+80億円	583億円
当期純利益	480億円	420億円	+60億円	417億円
(スライドタイムラグ)	+27億円	▲23億円	+50億円	▲318億円

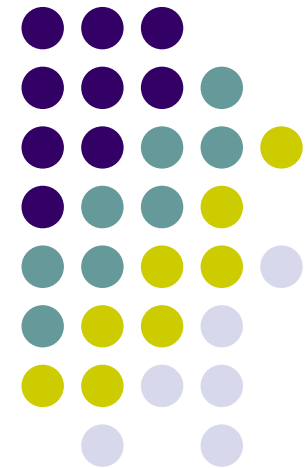
原油価格・為替レート変動の収支影響感度(通期)

	粗利(億円)
(+)1\$/bbl	▲7
(+)1円/\$	▲5

経済フレーム ※2009年10月以降 1バレル=70\$、1\$=95円

	原油価格(\$/bbl)	為替(円/\$)	気温(°C)
FY09	65.9	95.3	16.7
FY08	90.5	100.7	16.6

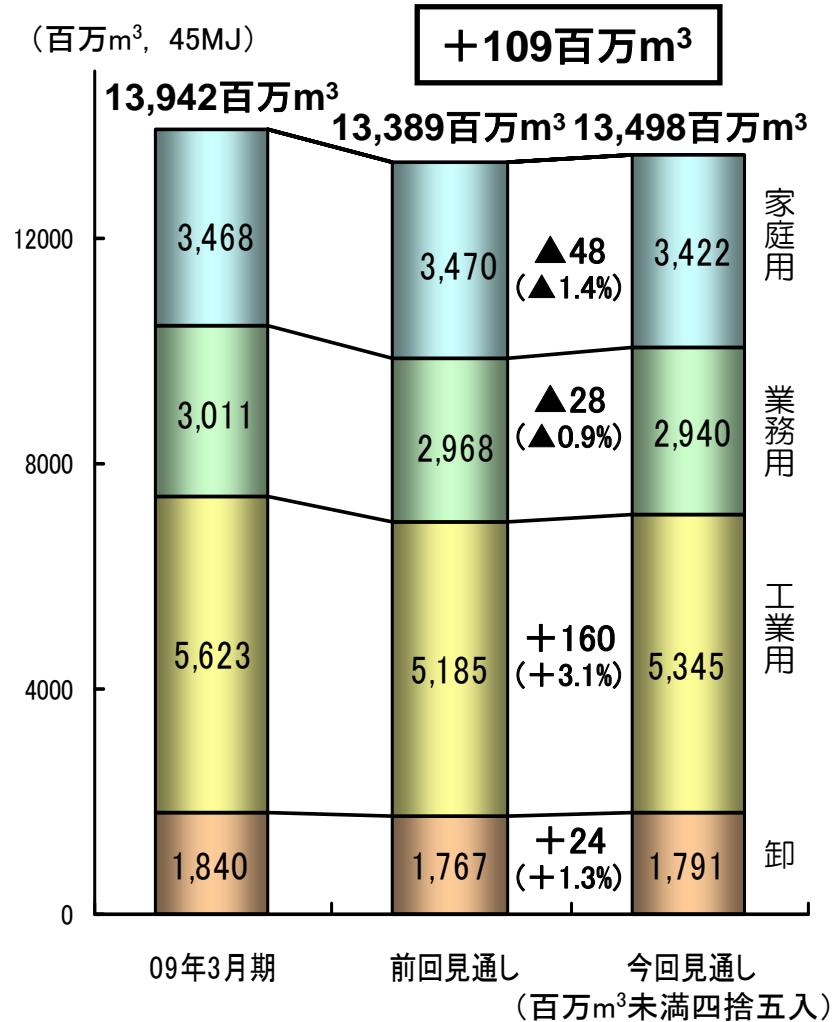
# 市場環境認識と経営課題進捗



# 市場環境認識と課題

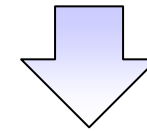


【連結ガス販売量】



(市場環境認識)

- ・ 景気影響による需要低迷
- ・ 競合環境の激化 (対オール電化等)
- ・ 環境意識の高まり



天然ガスの環境優位性 & 営業努力強化  
により更なる天然ガスの普及拡大へ

工業用ガス販売量 対前年同期比

09年 4~6月	09年 7~9月	09年10月~ 10年3月
▲19.7%	▲9.7%	+6.2%

※見通し

# 主要経営課題の進捗状況



## Expansionの推進 & バリューチェーン強化

### ＜天然ガスインフラ拡充＞～天然ガス需要増への対応

- ・ 扇島工場4号タンク（09.11月 着工予定）
- ・ 群馬幹線Ⅰ期（10.3月 供用開始予定）

### ＜上流事業＞～LNGの長期安定調達および事業収益の獲得

- ・ ダーウィン（06年度 LNG初出荷）からの配当を予定
- ・ プルート建設工事の順調な進捗（10年度LNG出荷予定）
- ・ ゴーゴン出資決定（建設費負担約340億円<sup>※</sup> 14年度LNG出荷予定）

### ＜電力事業＞～厳しい市場環境下での堅調な伸び

- ・ 電力販売量の増加（川崎天然ガス発電2号機 08.10月～）
- ・ 扇島パワー1号機（10.3月 運転開始予定）

# 主要経営課題の進捗状況



## 競争力ある原料調達戦略

### <長期安定調達>

- ・ サハリンⅡからの購入開始（契約数量110万トン）
- ・ ゴーゴン（2014年度～ 25年間 110万トン+1%権益分）

### <契約更改交渉状況>

- ・ 価格交渉を一部継続中
- ・ 原料費見通しはほぼ前回見通しどおり



# 2009年度 キャッシュフローの使途



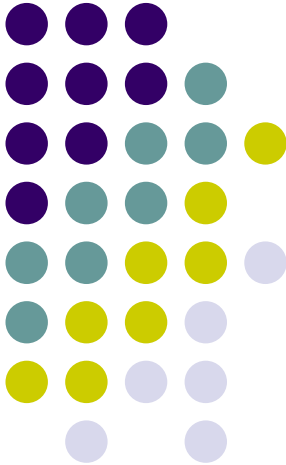
設備投資	主な件名
東京ガス 1,182億円 (▲30億円 ▲2.5%)	・製造設備:154億円(▲18億円) 根岸工場BOG設備、扇島工場LNGタンク等
	・供給設備:814億円(+1億円) 需要本支管、供給管新設、既存ガス管の入取替 等
	・業務設備等:214億円(▲13億円) システム関連 等
連結子会社計:436億円 (+82億円 +23.1%)	・上流事業(プルート・ゴゴン)(+93億円) ・エネルギーアドバンス:コージェネレーションシステム (▲13億円) 等
合計 1,560億円 (+50億円 +3.3% 内部消去後)	

※( )内は対計画増減

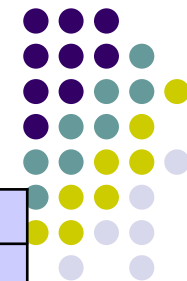
投融資 : 908億円(海外事業・電力事業・ライフバル出資 等)

株主還元策 : 270億円 (08年度期末配当・09年度中間配当・  
09年度自社株取得合計 総分配性向 6割を継続)

# 事業概況



# セグメント別売上高・営業損益



(億円)

	売上高		営業利益	
	FY09 第2Q	FY08 第2Q	FY09 第2Q	FY08 第2Q
ガス	4,665 (▲872)	5,537	661 (+543)	118
ガス器具	546 (▲27)	573	11 (▲7)	18
受注工事	187 (▲20)	207	▲7 (+2)	▲9
不動産賃貸	169 (▲9)	178	42 (▲6)	48
その他	1,417 (▲267)	1,684	62 (+16)	46
合計	6,986 (▲1,196)	8,182	771 (+549)	222
消去又は全社	▲665 ( - )	▲782	▲306 ( - )	▲317
連結	6,320 (▲1,080)	7,400	464 (+559)	▲95

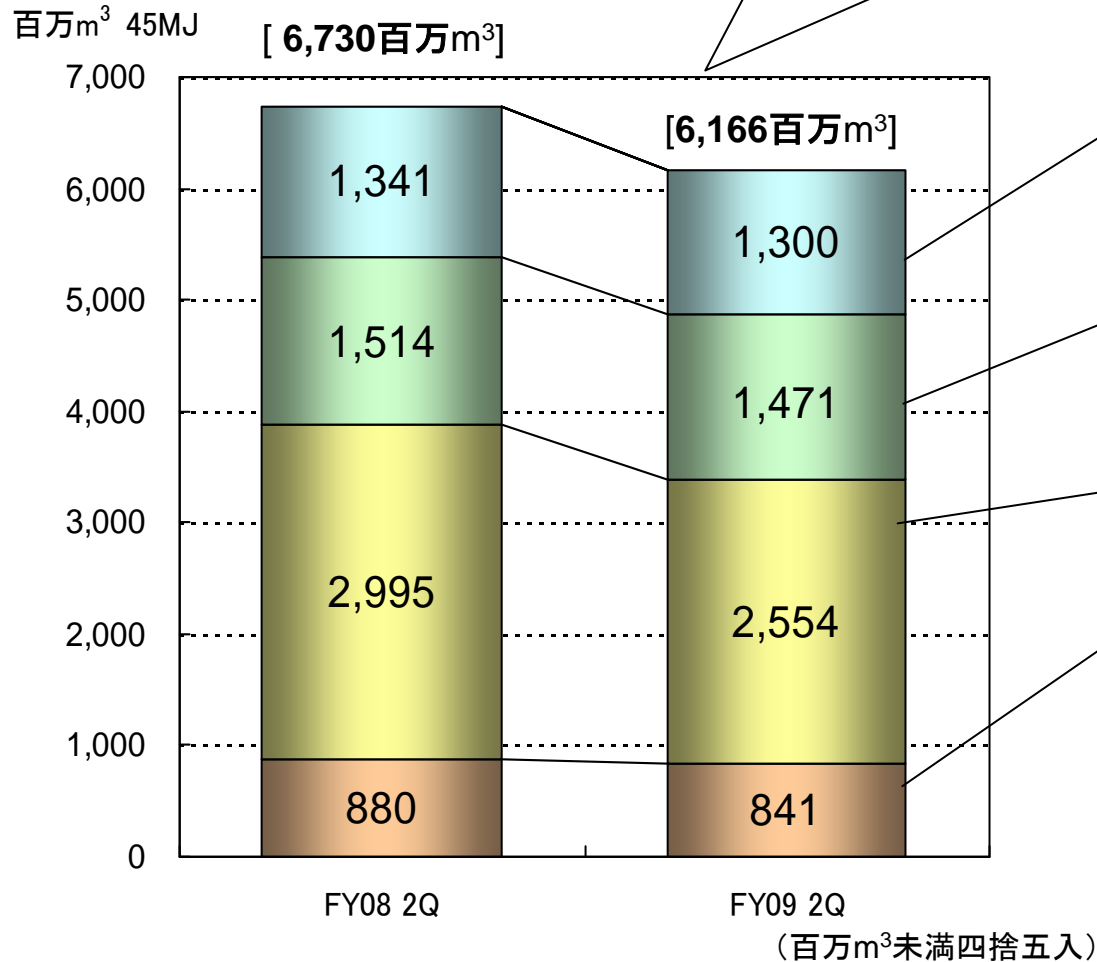
(注) ( ) 内は前年同期増減

セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含んでおり、営業利益には、配賦不能営業費用を含んでおりません。

# 【ガスセグメント】販売量実績



対前期比 ▲564百万m<sup>3</sup> (8.4%減)  
 [内大口供給 ▲509百万m<sup>3</sup> (14.1%減)]



## FY08 2Q → FY09 2Q 増減要因

**家庭用 ▲3.0% (▲41百万m<sup>3</sup>)**

- ・高気温(4-6月)による給湯需要の減少
- ・省エネ・節約行動

**業務用 ▲2.9% (▲43百万m<sup>3</sup>)**

- ・低気温(7-9月)による空調需要の減少
- ・景気低迷による件数減

**工業用 ▲14.7% (▲441百万m<sup>3</sup>)**

- ・景気低迷による稼働減

**卸供給 ▲4.4% (▲39百万m<sup>3</sup>)**

- ・景気低迷による供給先事業者の需要減

需要家件数		(万件)	
FY09 2Q	FY08 2Q	増減	率
1,056.3	1,042.3	14.0	1.3%

# 【ガスセグメント】家庭用ガス販売量



1,300百万m<sup>3</sup> (▲41百万m<sup>3</sup> ▲3.0%)

- ・ お客さま件数の増加 +13百万m<sup>3</sup> (+1.0%)
- ・ 気温影響による給湯需要の減少 ▲29百万m<sup>3</sup> (▲2.2%)
- ・ その他差異 (省エネ・節約傾向) ▲25百万m<sup>3</sup> (▲1.8%)

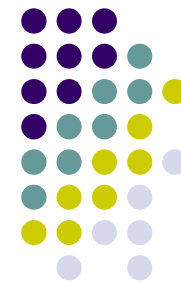
気温月別表

	FY09	FY08	差異
4月	15.7	14.7	1.0
5月	20.1	18.5	1.6
6月	22.5	21.3	1.2
7月	26.3	27.0	▲0.7
8月	26.6	26.8	▲0.2
9月	23.0	24.4	▲1.4
上期	22.4	22.1	0.3

	FY09 2Q	FY08 2Q	増減	率
新設件数 (件)個別	80,597	89,194	▲8,597	▲9.6%
需要家件数(万件)	1,056.3	1,042.3	+14.0	+1.3%

1件あたり販売量 (個別・m <sup>3</sup> /6ヶ月)	144.2	150.3	▲6.1	▲4.0%
--------------------------------------	-------	-------	------	-------

## 【ガスセグメント】業務用・卸ガス販売量



### 業務用ガス販売量

1,471百万m<sup>3</sup> (▲43百万m<sup>3</sup> ▲2.9%)

- ・ 気温・日数影響による空調需要の減 ▲2百万m<sup>3</sup> (▲0.1%)
- ・ 件数減・大口新規稼動他 ▲41百万m<sup>3</sup> (▲2.8%)

### 卸ガス販売量

841百万m<sup>3</sup> (▲39百万m<sup>3</sup> ▲4.4%)

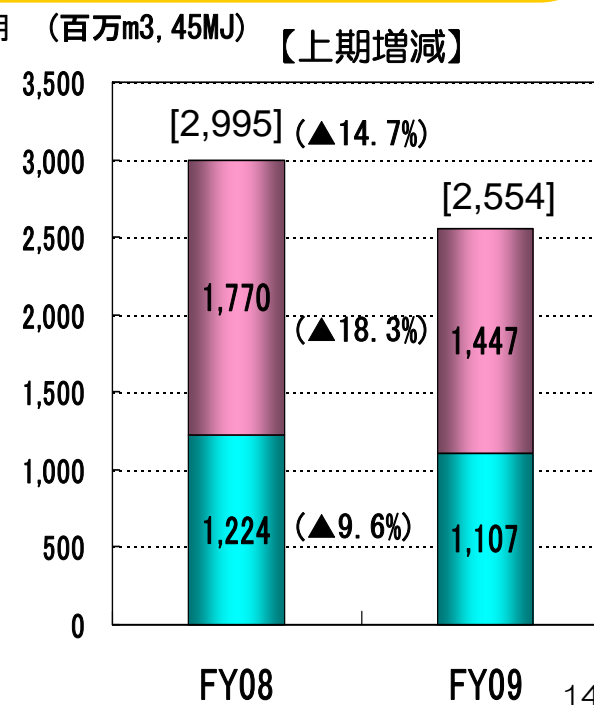
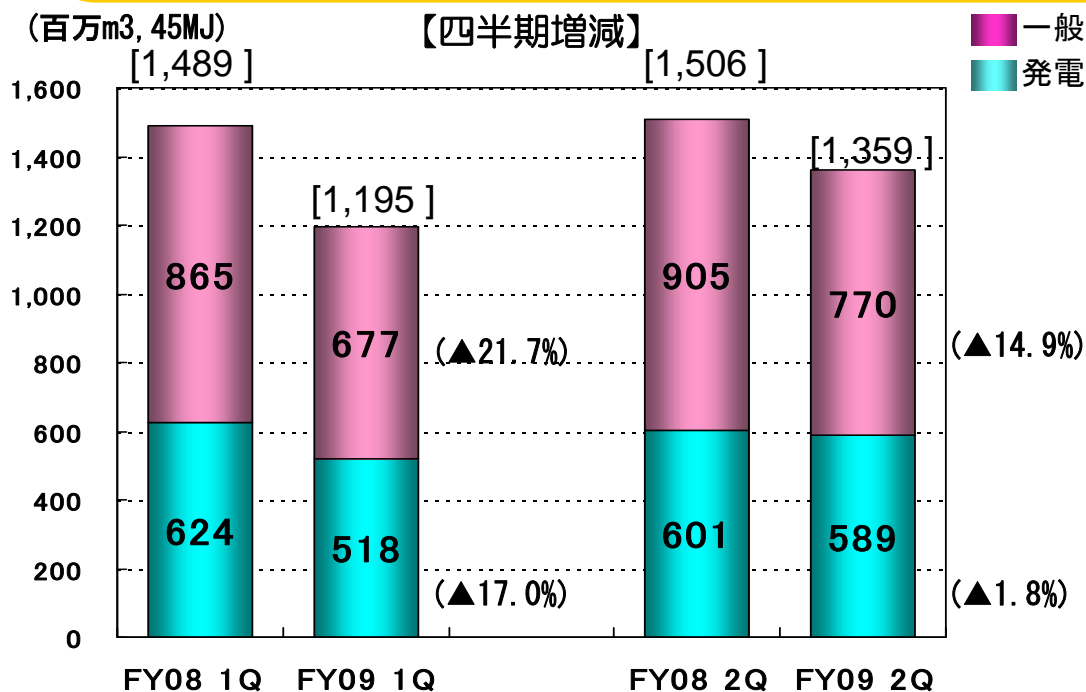
- ・ 景気低迷による工業用を中心とする既存顧客の稼動減、および卸先供給事業者の需要減  
(一般ガス事業者▲38百万m<sup>3</sup>、大口ガス事業者 ▲1百万m<sup>3</sup>)

# 【ガスセグメント】工業用ガス販売量

## 2,554百万m<sup>3</sup> (▲441百万m<sup>3</sup> ▲14.7%)



- 一般工業用（発電専用以外）**  
 (1Q) ▲188百万m<sup>3</sup> (▲21.7%)      景気の回復に伴い、マイナス幅は縮小へ  
 (2Q) ▲135百万m<sup>3</sup> (▲14.9%)
- 発電専用**  
 (1Q) ▲106百万m<sup>3</sup> (▲17.0%)      1Qは定修影響等で既存IPP・PPS稼動減が大きい  
 (2Q) ▲11百万m<sup>3</sup> (▲1.8%)      2Qはほぼ前年並みに回復



# 【非ガスセグメント】



## ガス器具

- ・減収減益：売上高546億円（▲27億円） 営業利益11億円（▲7億円）
- ・新設件数減少・節約傾向に伴う売上減、利益減

## 受注工事

- ・減収・赤字幅縮小：売上高187億円（▲20億円） 営業利益▲7億円（+2億円）
- ・新設件数減少による売上減

## 不動産賃貸

- ・減収減益：売上高169億円（▲9億円） 営業利益42億円（▲6億円）
- ・本社ビル浜松町集約に伴う新宿パークタワー賃料収入減

## その他セグメント

- ・減収増益：売上高1,417億円（▲267億円） 営業利益62億円（+16億円）
- ・I-LNGサービス：LNG販売単価減による売上減、  
エネルギーサービス事業の燃料費減に伴う利益増
- ・電力：燃料単価減による利益増
- ・船舶：7番船就航に伴う減価償却費増による利益減

（ ）内数値は対前年同期比 15



# 2009年度 第2四半期 経常利益分析



(対前期実績)

FY08 2Q実績  
▲114億円

FY09 2Q実績  
+505億円

差異  
+619億円

TG個別 +600億円

連結子会社  
+33億円

連結調整 ▲14億円

ガス粗利の改善 +627億円  
 ・ガス販売量・原料構成差 ▲72億円  
 ・スライド差改善 +672億円  
 ・その他 +27億円

営業費用の増加 ▲92億円  
 ・戦略的経費投入増 ▲19億円  
 (電化対抗▲21億円・ライバル▲3億円・  
 保安強化+5億円)  
 ・年金数理差異による退職手当 ▲52億円  
 増による諸給与増  
 ・減価償却費(中央幹線 I 期等) ▲24億円 他

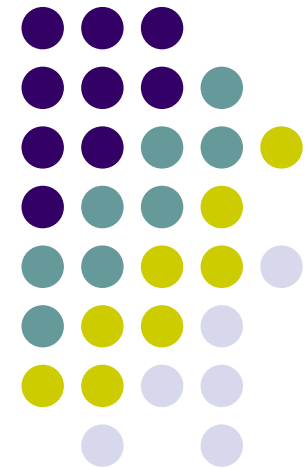
営雑・附帯収支増 +15億円

営業外収支の改善 +49億円  
 (為替差損益+27億円等)

(増益) 在外子会社での為替差益増、  
 エネルギーサービス燃料タイムラグ  
 (減益) タンカー減価償却費増、建物賃貸料収入減

※符号は利益の貢献に対して表示

# 2009年度 通期見通し



# セグメント別売上高・営業損益見通し



(億円)

	売上高		営業利益		主な差異要因
	今回見通し	前回見通し	今回見通し	前回見通し	
ガス	10,388 ( ▲23)	10,411	1,300 ( - )	1,300	売上: 需要構成差による減少
ガス器具	1,265 ( ▲51)	1,316	0 (▲12)	12	売上: 景気低迷、新設件数減等による減少
受注工事	468 ( ▲40)	508	▲11 ( ▲8)	▲3	売上: 新設件数減等による減少
不動産賃貸	337 ( ▲5)	342	67 ( ▲3)	70	売上: 建物賃貸料減による減少
その他	3,039 ( +41)	2,998	135 ( +25)	110	売上: エンジニアリング大規模物件による増加
消去又は 全社	▲1,427 ( - )	▲1,435	▲771 ( - )	▲769	
<b>連結</b>	<b>14,070 ( ▲70)</b>	<b>14,140</b>	<b>720 ( 0)</b>	<b>720</b>	

(注) ( ) 内は対前回見通し増減

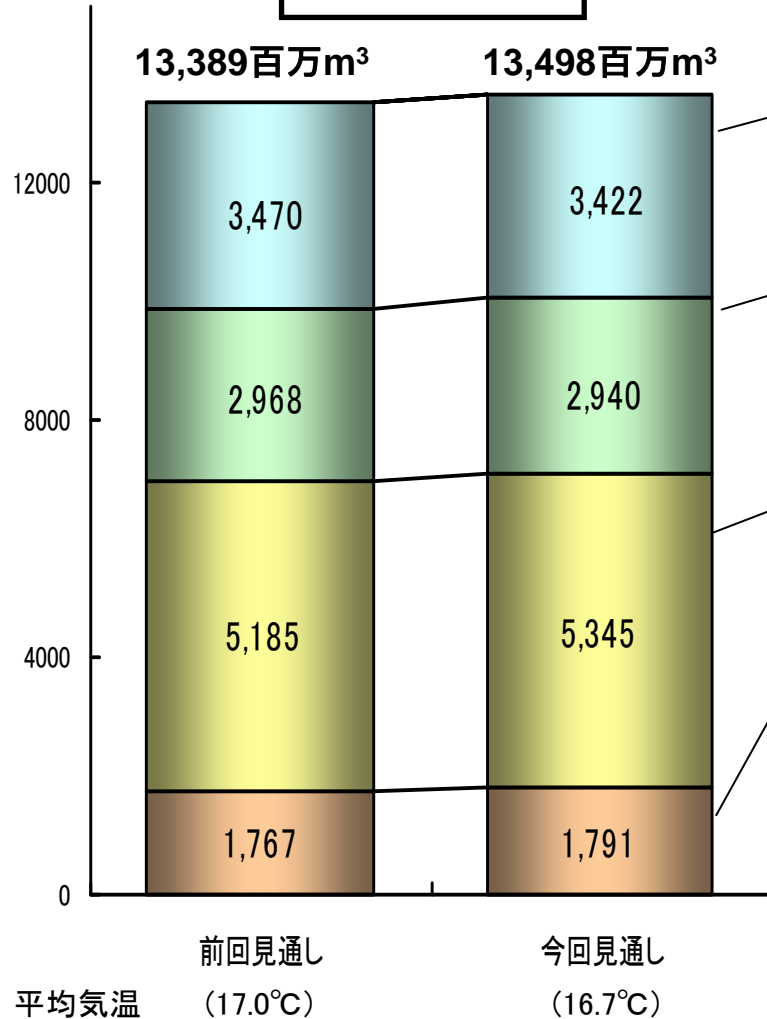
セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含んでおり、営業利益には、配賦不能営業費用を含んでおりません。

# ガス販売量見通し（対 前回見通し）



(百万m<sup>3</sup>, 45MJ)

**+109百万m<sup>3</sup>**



## <前回見通し → 今回見通し>

**家庭用** ▲1.4% (▲48百万m<sup>3</sup>)  
 ・新設件数減影響、省エネ・節約傾向による1件当り販売量減

**業務用** ▲0.9% (▲28百万m<sup>3</sup>)  
 ・第2四半期の気温影響による空調需要の落込みが影響  
 ・下期は販売量増見通し

**工業用** +3.1% (+160百万m<sup>3</sup>)  
 ・下期は、発電用、鉄鋼を中心に販売量増見通し

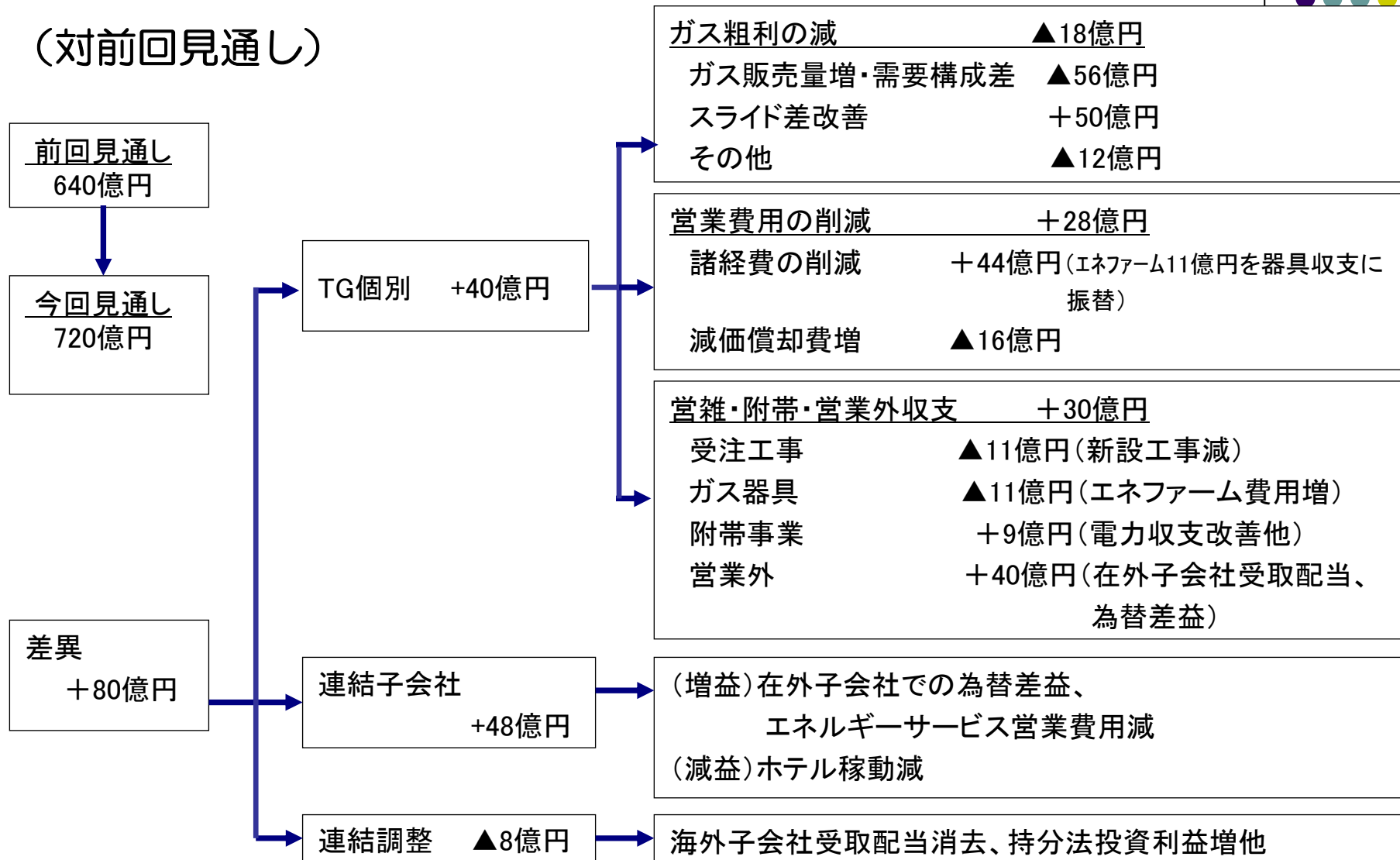
**卸供給** +1.3% (+24百万m<sup>3</sup>)  
 ・第2四半期の実績および卸先の下期増量見通しを反映

(百万m<sup>3</sup>未満四捨五入)

# 2009年度通期 経常利益分析



(対前回見通し)



※符号は利益の貢献に対して表示

# 2009年度 資金計画（連結）



(億円)

所要資金		資金調達		
設備投資	1,560	自己資金	減価償却等	1,490
その他投融資*	840		経常利益	720
決算資金	650		その他	820
自社株取得	50		計	3,030
償還・返済 (単体分)	890 (680)	外部資金 (単体分)		960 (880)
計	3,990	計		3,990

有利子負債残高：08年度末 5,932億円 09年度末 6,010億円

注：年度内に発行・償還される季節運転資金としてのCPは、上記表には含まれておりません。

\*：その他投融資は、投入金と融資金返済による相殺後です。

# 参考資料

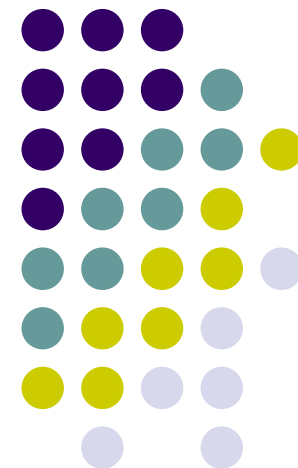
## 実績編

- ・連結 主要決算数値（今期 対 前期） . . . . . P. 24
- 会社別・セグメント別売上高内訳 . . . . . P. 25
- 資産構成変化（今期末 対 前期末） . . . . . P. 26
- ・個別 主要決算数値（今期 対 前期・前回見通し） . . . . . P. 27、29
- 営業主要計数・諸経費内訳（今期 対 前期・前回見通し） . . . . . P. 28、30

## 見通し編

- ・経済フレーム及び年度収支影響感度（個別） . . . . . P. 32
- ・連結 主要決算数値（今回 対 前回見通し・対前期） . . . . . P. 33
- ・個別 主要決算数値（今回 対 前回見通し・対前期） . . . . . P. 34、36
- 営業主要計数・諸経費内訳（今回 対 前回見通し・対前期） . . . . . P. 35、37
- 営業キャッシュフロー 及び 設備投資内訳 . . . . . P. 38

# 実績編





# 連結 主要決算数値 第2四半期実績（今期対前期）

2009年4月～9月（2009年度第2四半期）実績＜対前年同期実績＞

（単位：億円未満切捨て）

	今期	前年同期	増減		
売上高	6,320	7,400	-1,080	-14.6%	ガス売上高▲872
営業利益	464	-95	559	-	ガス営業利益+543
経常利益	505	-114	619	-	＜営業外損益＞為替レート差損益+49、持分法投資利益▲13
四半期純利益	327	-16	343	-	＜特別損益＞特別利益減（前年同期：リース会計基準の適用に伴う影響額78、厚生年金基金代行返上益15）で▲94、利益増に伴う法人税等増で▲182
総資産※	17,222	17,641	-419	-2.4%	受取手形及び売掛金▲512、原材料及び貯蔵品▲134、投資有価証券+210
自己資本※	8,048	7,723	325	4.2%	利益剰余金増（四半期純利益計上+327、剰余金の配当▲108等）+215、評価・換算差額等増（その他有価証券評価差額金+61等）+109
自己資本比率※（%）	46.7%	43.8%	2.9	-	総資産減（▲2.4%）に加え、自己資本増（+4.2%）により上昇
総資本回転率（回転）	0.36	0.43	-0.07	-	総資産期中平均残高増に加え、売上高減（▲14.6%）により下落
有利子負債残高※	5,622	5,932	-310	-5.2%	東京ガス▲327、東京ガス都市開発▲90、Tokyo Gas Pluto+63、ティージー・クレジットサービス+54（それぞれ連結ベース）
四半期純利益	327	-16	343	-	
減価償却（*2・3）	702	668	34	5.0%	東京ガス+23、東京エルエヌジータンカー+12
営業キャッシュ・フロー（*1）	1,029	651	378	58.0%	
設備投資（*2）	579	627	-48	-7.6%	東京エルエヌジータンカー▲31、エネルギーアドバンス▲19、東京ガス都市開発▲18、Tokyo Gas Pluto+17
1株当たり四半期純利益（円/株）	12.07	-0.63	12.70	-	四半期純利益増（+343億円）により上昇
1株当たり純資産※（円/株）	296.69	284.72	11.97	4.2%	

今期（2009年4月～9月）は連結66社（東京ガス+連結子会社61社+持分法適用関連会社4社）、前年同期は連結62社（東京ガス+連結子会社57社+持分法適用関連会社4社）

※印「前年同期」は2009年3月末値

（\*1）営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書値ではなく「四半期純利益+減価償却」で定義した簡便法で算定

（\*2）設備投資・減価償却は内部取引相殺後額

（\*3）減価償却には長期前払費用償却を含む

# 連結 会社別・セグメント別売上高内訳 第2四半期実績

	セグメント別外部売上高						外部 売上高比率	内部 売上高	単独決算 売上高	
	ガス	ガス器具	受注工事	不動産賃貸	その他	計				
東京ガス(株)(A)	433,895	35,622	15,808	0	22,662	507,987	93.9%	32,934	540,921	
連結 会社 別 外部 売上 高 計	東京ガス都市開発(株)	0	0	0	5,752	5,752	36.1%	10,201	15,953	
	東京ガス豊洲開発(株)	0	0	0	249	249	100.0%	0	249	
	長野都市ガス(株)	4,613	372	185	0	5,170	100.0%	0	5,170	
	(株)エネキープアドバンス	0	0	0	0	25,083	94.2%	1,554	26,637	
	(株)ガスター	0	4,939	0	173	5,113	40.8%	7,406	12,519	
	東京エルエヌジータンカー(株)	0	0	0	0	1,923	26.3%	5,396	7,319	
	東京ガスエネルギー(株)	0	305	0	0	8,489	77.4%	2,563	11,358	
	(株)キャプティ	0	3,171	915	78	6,232	29.5%	14,905	21,137	
	東京ガスケミカル(株)	0	0	0	0	5,021	68.5%	2,313	7,334	
	パークタワーホテル(株)	0	0	0	0	3,260	95.6%	150	3,410	
	(株)東京ガス横須賀パワー	0	0	0	0	3,800	95.6%	176	3,976	
	千葉ガス(株)	6,182	251	224	0	493	7,152	96.1%	289	7,441
	ティーシー・クレジットサービス(株)	0	0	0	0	3,103	3,103	72.1%	1,198	4,301
	(株)ティーシー情報ネットワーク	0	0	0	0	413	413	6.0%	6,523	6,936
	筑波学園ガス(株)	2,868	138	198	0	21	3,226	98.6%	47	3,273
	東京ガス・エンジニアリング(株)	0	0	0	0	12,899	12,899	88.6%	1,651	14,550
	東京ガスファシリティサービス(株)	0	0	0	0	284	284	6.9%	3,830	4,114
	(株)キャプティ・ライフレック	0	2,269	0	0	0	2,269	63.9%	1,279	3,548
	(株)ニジオ	4,350	0	0	0	0	4,350	75.0%	1,454	5,804
その他連結子会社	1,368	4,208	26	64	14,314	19,982	57.0%	15,104	35,086	
連結子会社計(B)	19,383	15,656	1,550	6,318	81,178	124,087	62.0%	76,038	200,125	
連結会社合計	453,278	51,278	17,358	6,318	103,840	632,074	85.3%	108,972	741,046	
外部売上比率	96.1%	73.0%	76.4%	37.3%	65.2%	85.3%	-	-	-	
内部売上高(C)	18,641	18,976	5,373	10,606	55,375	108,972	-	108,972	-	
単純合算売上高(A)+(B)+(C)	471,919	70,254	22,731	16,924	159,215	741,046	-	-	-	

# 連結 資産構成変化 第2四半期末 対 前期末

(対前年度末比較)

(単位: 億円未満切捨て)

	2009/09末		2009/03末		増減		増減内訳
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率	
<b>【資産の部】</b>							
固定資産	13,663	79.3%	13,520	76.6%	143	1.1%	(有形・無形固定資産)設備投資+579、償却▲702 (投資その他の資産)投資有価証券+210(時価評価差額による増加+95、 新規取得による増加+71他)
流動資産	3,559	20.7%	4,121	23.4%	-562	-13.6%	(売掛金)ガス販売量影響(季節差等による売掛金の減)他 (たな卸資産)LNG在庫数量減少他 (その他流動資産)未収入金▲206他
<b>資産合計</b>	<b>17,222</b>	<b>100.0%</b>	<b>17,641</b>	<b>100.0%</b>	<b>-419</b>	<b>-2.4%</b>	
<b>【負債の部】</b>							
有利子負債	5,622	32.6%	5,932	33.6%	-310	-5.2%	(社債)満期償還(第18回債)による減少▲300 (長期借入金)返済▲149、新規借入+76
退職給付引当金	1,155	6.7%	1,007	5.7%	148	14.7%	TG+148
支払手形・買掛金	785	4.6%	1,033	5.9%	-248	-23.9%	買掛金▲236
その他負債	1,497	8.7%	1,822	10.3%	-325	-17.9%	未払金▲178他
<b>負債合計</b>	<b>9,061</b>	<b>52.6%</b>	<b>9,795</b>	<b>55.5%</b>	<b>-734</b>	<b>-7.5%</b>	
<b>【純資産の部】</b>							
株主資本	7,940	46.1%	7,725	43.8%	215	2.8%	(資本金・資本剰余金)変動なし (利益剰余金)+215(四半期純利益+327、支払配当金▲108他)
評価・換算差額等	107	0.6%	-2	0.0%	109	—	(その他有価証券評価差額金)時価評価差額の増加+61
少数株主持分	112	0.7%	122	0.7%	-10	-7.8%	
<b>純資産合計</b>	<b>8,161</b>	<b>47.4%</b>	<b>7,846</b>	<b>44.5%</b>	<b>315</b>	<b>4.0%</b>	自己資本比率43.8%(2009/03末)→46.7%(2009/09末)
<b>負債・純資産合計</b>	<b>17,222</b>	<b>100.0%</b>	<b>17,641</b>	<b>100.0%</b>	<b>-419</b>	<b>-2.4%</b>	

# 個別 主要決算数値 第2四半期実績 (今期 対 前期)

億円

	今期	前年同期	増減	
総売上高	5,409	6,493	-1,084	-16.7%
営業利益	362	-188	550	-
経常利益	389	-211	600	-
当期純利益	253	-133	386	-

億円

	今期	前年同期	増減			
製品売上高(ガス売上高)	4,518	5,400	-882	-16.3%	数量・料金構成差▲351億円、単価差▲531億円	
営業費用	原材料費	2,012	3,521	-1,509	-42.9%	数量・原料構成差▲279億円、単価差▲1,230億円
	(粗利)	(2,505)	(1,878)	(627)	(33.4%)	数量・構成差▲72億円、単価差+699億円
	諸給与	637	585	52	8.9%	退職手当+57億円 他
	諸経費	1,052	1,039	13	1.2%	詳細は別紙参照
	減価償却費	516	492	24	4.8%	税制改正当期到達影響+4億円、本支管・製造設備他新規取得に伴う償却費増+20億円
	LNG受託加工費	-16	-20	4	-18.7%	
計	4,202	5,619	-1,417	-25.2%		
受注工事収支	-8	-7	-1	-		
器具販売等収支	32	33	-1	-3.8%	GHP▲3億円、ビルトインコンロ+1億円他	
営業雑収支	23	26	-3	-9.3%		
附帯事業収支	22	3	19	457.7%	LNG販売+13億円	
営業利益	362	-188	550	-		
営業外収支	27	-22	49	-	為替レート差損益+27億円 他	
経常利益	389	-211	600	-		
特別利益	0	0	0	-		
特別損失	0	0	0	-		
法人税等	135	-78	213	-		
当期純利益	253	-133	386	-		

## 料金スライドの収支への影響

	今期	前年同期	増減
料金によるスライド回収	-293	296	-589
原料費の増加分	-509	751	-1,260
差し引き	216	-456	672

## 経済フレーム

	今期	前年同期	増減
原油価格	61.81	119.71	-57.90
為替レート	95.53	106.12	-10.59

金額は基準価格に対する増減額

# 個別 営業主要計数・諸経費内訳 第2四半期実績（今期対前期）

## お客さま件数

千件

	今期	前年同期	増減	
お客さま件数	10,298	10,166	132	1.3%
新設件数	81	89	-9	-9.6%

## 個別ガス販売実績

百万m3

	今期	前年同期	増減			
家庭用1件当り販売量(m3)	144.2	150.3	-6.1	-4.0%	気温影響▲3.3m3(▲2.2%)、その他増減▲2.8m3(▲1.8%)	
家庭用	1,260	1,300	-40	-3.1%	気温影響▲29百万m3(▲2.2%)、件数差+13百万m3(+1.0%)、その他増減▲24百万m3(▲1.9%)	
業務用	商業用	950	1,009	-59	-5.8%	
	その他用	454	436	18	4.2%	
業務用計	1,404	1,445	-41	-2.8%	気温影響▲5百万m3(▲0.3%)、その他増減▲36百万m3(▲2.5%)	
工業用	発電専用	952	1,139	-187	-16.5%	
	発電専用以外	1,377	1,698	-321	-18.9%	詳細は別紙参照
工業用計	2,329	2,837	-508	-17.9%		
計	3,733	4,282	-549	-12.8%		
卸供給	945	987	-42	-4.3%	気温影響▲3百万m3(▲0.3%)、卸先需要家の既存物件稼働減▲39百万m3(▲4.0%)	
合計	5,938	6,569	-631	-9.6%	気温影響▲37百万m3(▲0.6%)、発電専用▲187百万m3(▲2.8%)、工業用(発電専用以外)▲321百万m3(▲4.9%)、卸供給(気温影響除き)▲39百万m3(▲0.6%)、その他▲47百万m3(▲0.7%)	
(内大口供給)	2,980	3,485	-505	-14.5%		

## 諸経費

	今期	前年同期	増減		
修繕費	155	157	-2	-0.8%	
消耗品費	64	61	3	5.0%	消耗品がスマート増(計画数量増)+3億円
賃借料	97	101	-4	-3.3%	建物賃借料減(賃貸面積減)▲3億円
委託作業費	293	279	14	4.9%	ライフバル委託費増+5億円、安全点検強化+3億円、料金回収手数料増+1億円
租税課金	196	206	-10	-5.0%	事業税減▲12億円
需要開発費	86	78	8	9.5%	ライフバル手数料増+12億円、エネファーム広告費等増+10億円、ガス開発手数料減▲8億円、保安対策補助金減▲4億円 他
その他	161	157	4	2.1%	一般固定資産除却費増+4億円

# 個別 主要決算数値 第2四半期実績 (今期 対 前回見通し)

億円

	今期	前回7/30	増減	
総売上高	5,409	5,400	9	0.2%
営業利益	362	340	22	6.5%
経常利益	389	350	39	11.2%
当期純利益	253	230	23	10.2%

億円

	今期	前回7/30	増減			
製品売上高(ガス売上高)	4,518	4,510	8	0.2%	数量・料金構成差+12億円、単価差▲4億円	
営業費用	原材料費	2,012	1,960	52	2.7%	数量・原料構成差+18億円、単価差+34億円
	(粗利)	(2,505)	(2,550)	(-45)	(-1.7%)	数量・構成差▲6億円、単価差▲39億円
	諸給与	637	639	-2	-0.2%	法定福利費▲2億円
	諸経費	1,052	1,104	-52	-4.7%	詳細は別紙参照
	減価償却費	516	520	-4	-0.8%	本支管他取得時期遅れに伴う償却費減▲4億円
	LNG受託加工費	-16	-16	0	-	
計	4,202	4,207	-5	-0.1%		
受注工事収支	-8	-8	0	-		
器具販売等収支	32	27	5	20.6%	器具収支 業務用GHP+2億円、間接費減他+3億円	
営業雑収支	23	19	4	24.8%		
附帯事業収支	22	18	4	23.0%	電力販売+3億円	
営業利益	362	340	22	6.5%		
営業外収支	27	10	17	-	為替レート差益+16億円 他	
経常利益	389	350	39	11.2%		
特別利益	0	0	0	-		
特別損失	0	0	0	-		
法人税等	135	120	15	13.2%		
当期純利益	253	230	23	10.2%		

## 料金スライドの収支への影響

	今期	前回7/30	増減
料金によるスライド回収	-293	-290	-3
原料費の増加分	-509	-542	33
差し引き	216	252	-36

## 経済フレーム

	今期	前回7/30	増減
原油価格	61.81	61.26	0.55
為替レート	95.53	96.18	-0.65

金額は基準価格に対する増減額

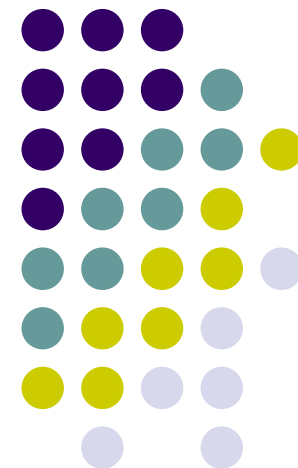
# 個別 営業主要計数・諸経費内訳 第2四半期実績（今期対前回見通し）

	今期	前回7/30	増減	
お客さま件数	10,298	10,287	10	0.1%
新設件数	81	88	-7	-8.3%

	今期	前回7/30	増減			
家庭用1件当り販売量(m3)	144.2	143.0	1.2	0.8%	気温影響+2.7m3(+1.9%)、その他増減▲1.5m3(▲1.1%)	
家庭用	1,260	1,251	9	0.7%	気温影響+24百万m3(+1.9%)、件数差▲2百万m3(▲0.1%)、その他増減▲13百万m3(▲1.1%)	
業務用	商業用	950	980	-30	-3.0%	
	その他用	454	467	-13	-2.8%	
業務用計	1,404	1,447	-43	-3.0%	気温影響▲31百万m3(▲2.2%)、その他増減▲12百万m3(▲0.8%)	
工業用	発電専用	952	881	71	8.0%	
	発電専用以外	1,377	1,410	-33	-2.3%	
工業用計	2,329	2,291	38	1.7%	既存物件稼働増	
計	3,733	3,738	-5	-0.1%		
卸供給	945	916	29	3.2%	気温影響+3百万m3(+0.3%)、卸先需要家の既存物件稼働増+26百万m3(+2.9%)	
合計	5,938	5,905	33	0.6%	気温影響▲4百万m3(▲0.1%)、発電専用+71百万m3(+1.2%)、工業用(発電専用以外)▲33百万m3(▲0.5%)	
(内大口供給)	2,980	2,962	18	0.6%	卸供給(気温影響除き)+25百万m3(+0.4%)、その他▲26百万m3(▲0.4%)	

	今期	前回7/30	増減		
修繕費	155	170	-15	-8.4%	本支管修繕費減▲6億円、装置修繕費減▲4億円 他
消耗品費	64	67	-3	-3.9%	消耗品ガスメータ減▲2億円、印刷代減▲1億円
賃借料	97	100	-3	-2.3%	建物賃借料減(契約更改等)▲1億円 他
委託作業費	293	301	-8	-2.5%	システム関係委託料減▲6億円 他
租税課金	196	196	0	0.3%	
需要開発費	86	97	-11	-11.2%	ガス開発手数料減▲4億円、諸広告費減▲4億円 他
その他	161	173	-12	-8.6%	除却費減▲6億円、試験研究費減▲2億円、電力料減(原燃料費調整単価減)▲1億円、使用ガス費減▲1億円 他

# 見通し編





# 個別 経済フレーム及び年度収支影響感度

## 経済フレーム

	今回10/28			
	上期	下期	年度	
原油価格	61.81	70.00	65.91	\$/bbl
為替レート	95.53	95.00	95.27	円/\$
	前回7/30			
	上期	下期	年度	
原油価格	61.26	70.00	65.63	\$/bbl
為替レート	96.18	95.00	95.59	円/\$
	増減			
	上期	下期	年度	
原油価格	0.55	0.00	0.28	\$/bbl
為替レート	-0.65	0.00	-0.32	円/\$

## 原油価格・為替レート変動の年度収支影響感度

1\$/bbl	3Q	4Q	通年	億円
売上高	-4	0	-4	
原料	-10	-1	-11	
粗利	6	1	7	

1円/\$	3Q	4Q	通年
売上高	-12	-3	-15
原料	-11	-9	-20
粗利	-1	6	5

## 経済フレーム

	今回10/28			
	上期	下期	年度	
原油価格	61.81	70.00	65.91	\$/bbl
為替レート	95.53	95.00	95.27	円/\$
	前年実績			
	上期	下期	年度	
原油価格	119.71	60.84	90.52	\$/bbl
為替レート	106.12	95.08	100.71	円/\$
	増減			
	上期	下期	年度	
原油価格	-57.90	9.16	-24.61	\$/bbl
為替レート	-10.59	-0.08	-5.44	円/\$

# 連結 主要決算数値 通期見通し (今回対前回見通し/前期実績)

2009年度見通し<今回見通し対前回見通し>

億円

<今回見通し対前期実績>

	2009年度見通し<今回見通し対前回見通し>				備考	<今回見通し対前期実績>			
	今回 (10/28)	前回 (7/30)	増減			前期実績	増減		
売上高	14,070	14,140	-70	-0.5%	ガス売上高▲23、器具売上高▲51	16,601	-2,531	-15.2%	
営業利益	720	720	-	-		652	68	10.4%	
経常利益	720	640	80	12.5%	営業外損益+80(為替差益増他)	583	137	23.4%	
当期純利益	480	420	60	14.3%	利益増に伴う法人税等増▲20	417	63	15.1%	
総資産	18,270	18,250	20	0.1%		17,641	629	3.6%	
自己資本	7,930	7,870	60	0.8%	利益剰余金増+60(当期純利益増加)	7,723	207	2.7%	
自己資本比率 (%)	43.4%	43.1%	0.3	-	利益剰余金増に伴う自己資本増により上昇	43.8%	-0.4	-	
総資本回転率 (回転)	0.78	0.79	-0.01	-	売上高減(▲70)により減少	0.96	-0.18	-	
ROA(*2) (%)	2.7%	2.3%	0.4	-	当期純利益増(+60)により上昇	2.4%	0.3	-	
ROE(*2) (%)	6.1%	5.4%	0.7	-	当期純利益増(+60)により上昇	5.4%	0.7	-	
有利子負債残高	6,010	6,290	-280	-4.5%		5,932	78	1.3%	
D/Eレシオ	0.76	0.80	-0.04	-		0.77	-0.01	-	
	当期純利益	480	420	60	14.3%		417	63	15.1%
	減価償却(*3・4)	1,490	1,490	-	-		1,410	80	5.6%
営業キャッシュ・フロー(*1)	1,970	1,910	60	3.1%		1,827	143	7.8%	
設備投資(*3)	1,560	1,510	50	3.3%	TGコーポ+90、東京ガス▲30	1,459	101	6.9%	
TEP	48	-1	49	-	経常利益増(+80)により増加	-48	96	-	
(WACC)	3.4%	3.4%	-	-		3.4%	-	-	
1株当たり当期純利益 (円/株)	17.70	15.48	2.22	14.3%	当期純利益増(+60)により上昇	15.63	2.07	13.2%	
1株当たり純資産 (円/株)	292.34	290.12	2.22	0.8%	利益剰余金増に伴う自己資本増により上昇	284.72	7.62	2.7%	
総分配性向(*5)	(*6)	(*6)	-	-		63%	-	-	

今期(2010年3月期)は連結66社(東京ガス+連結子会社61社+持分法適用関連会社4社)、前期は連結62社(東京ガス+連結子会社57社+持分法適用関連会社4社)

(\*1)営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書値ではなく「当期純利益+減価償却」で定義した簡便法で算定

(\*2)ROA・ROE算定の総資産・自己資本は前期末・当期末の平均値

(\*3)設備投資・減価償却は内部取引相殺後額

(\*4)減価償却には長期前払費用償却を含む

(\*5) $n$ 年度総分配性向 =  $((n$ 年度の利益処分ベース配当金額) $+(n+1$ 年度の自社株取得額) $)/(n$ 年度連結当期純利益)

(\*6)本中期経営計画期間(2009~2013年度)中における総分配性向の目標を、6割に設定している。

TEP(Tokyo Gas Economic Profit)について  
 TEP=税引後・利払前利益-資本コスト額(投下資本×WACC)  
 ・有利子負債コスト 金利(1.24%)  
 ・株主資本コスト率(10年国債利回り過去10年平均 1.47%)、  
 リスクプレミアム4.0%、 $\beta$ 0.75  
 ・WACC算定に使用する自己資本=08年度平均時価総額

# 個別 主要決算数値 通期見通し（今回対前回見通し）

	今回10/28	前回7/30	増減	
総売上高	12,020	12,120	-100	-0.8%
営業利益	520	520	0	-
経常利益	540	500	40	8.0%
当期純利益	360	330	30	9.1%

億円

		今回10/28	前回7/30	増減		
製品売上高(ガス売上高)		10,050	10,080	-30	-0.3%	数量・料金構成差▲10億円、単価差▲20億円
営業費用	原材料費	4,872	4,884	-12	-0.2%	数量・原料構成差+46億円、単価差▲58億円
	(粗利)	(5,178)	(5,196)	(-18)	(-0.3%)	数量・構成差▲56億円、単価差+38億円
	諸給与	1,282	1,282	0	0.0%	
	諸経費	2,353	2,397	-44	-1.8%	詳細は別紙参照
	減価償却費	1,089	1,073	16	1.5%	根岸BOG設備早期取得に伴う償却費増他 +16億円
	LNG受託加工費	-32	-32	0	-	
計		9,564	9,604	-40	-0.4%	
営業雑収支	受注工事収支	-10	1	-11	-	新設件数減(▲30千件)▲10億円 他
	器具販売等収支	21	29	-8	-27.6%	器具収支 エネファーム関連費増他▲10億円、その他雑 基地利用料増他+2億円
附帯事業収支		23	14	9	64.3%	電力販売+9億円
営業利益		520	520	0	0.0%	
営業外収支		20	-20	40	-	在外関連会社からの受取配当金他
経常利益		540	500	40	8.0%	
特別利益		0	0	0	-	
特別損失		0	0	0	-	
法人税等		180	170	10	5.9%	
当期純利益		360	330	30	9.1%	

## 料金スライドの収支への影響

	今回10/28	前回7/30	増減
料金によるスライド回収	-758	-709	-49
原料費の増加分	-784	-686	-98
差し引き	27	-23	50

## 経済フレーム

	今回10/28	前回7/30	増減
原油価格	65.91	65.63	0.28
為替レート	95.27	95.59	-0.32

金額は基準価格に対する増減額

# 個別 営業主要計数・諸経費内訳 通期見通し（今回対前回見通し）

## お客さま件数

千件

	今回10/28	前回7/30	増減	
お客さま件数	10,360	10,360	0	0.0%
新設件数	184	214	-30	-14.2%

景気回復遅れに伴う着工件数減影響

## ガス販売量内訳

百万m3

	今回10/28	前回7/30	増減			
家庭用1件当り販売量(m3)	380.2	383.6	-3.4	-0.9%	気温影響+2.7m3(+0.7%)、その他増減▲6.1m3(▲1.6%)	
家庭用	3,316	3,362	-46	-1.4%	気温影響+24百万m3(+0.7%)、件数差▲16百万m3(▲0.5%)、その他増減▲54百万m3(▲1.6%)	
業務用	商業用	1,901	1,921	-20	-1.0%	
	その他用	887	898	-11	-1.3%	
業務用計	2,788	2,819	-31	-1.1%	気温影響▲31百万m3(▲1.1%)	
工業用	発電専用	1,922	1,817	105	5.8%	
	発電専用以外	2,920	2,869	51	1.8%	
工業用計	4,842	4,686	156	3.3%	既存物件稼働増	
計	7,631	7,506	125	1.7%		
卸供給	2,020	1,996	24	1.2%	気温影響+3百万m3(+0.2%)、卸先需要家の既存物件稼働増+21百万m3(+1.0%)	
合計	12,967	12,864	103	0.8%	気温影響▲4百万m3(▲0.1%)、発電専用+105百万m3(+0.8%)、工業用(発電専用以外)+51百万m3(+0.4%)	
(内大口供給)	6,103	5,949	154	2.6%	卸供給(気温影響除き)+21百万m3(+0.2%)、その他▲70百万m3(▲0.5%)	

## 諸経費

	今回10/28	前回7/30	増減		
修繕費	355	361	-6	-1.7%	装置修繕費減▲4億円、建物修繕費減▲1億円 他
消耗品費	139	142	-3	-2.1%	消耗工具器具備品減▲3億円 他
賃借料	195	198	-3	-1.5%	建物賃借料減▲2億円(契約更改等) 他
委託作業費	619	634	-15	-2.4%	営業関係委託減▲4億円、事務委託減▲4億円、システム関係委託減▲2億円、建物関係委託減▲1億円 他
租税課金	405	400	5	1.3%	事業税増+6億円 他
需要開発費	255	276	-21	-7.6%	エネファーム関係費用の他科目への振替等▲14億円、ガス開発手数料減▲7億円 他
その他	385	386	-1	-0.3%	

# 個別 主要決算数値 通期見通し（今回対前期実績）

億円

	今回10/28	前期実績	増減	
総売上高	12,020	14,481	-2,461	-17.0%
営業利益	520	425	95	22.2%
経常利益	540	398	142	35.5%
当期純利益	360	250	110	43.5%

億円

		今回10/28	前期実績	増減		
製品売上高(ガス売上高)		10,050	12,257	-2,207	-18.0%	数量・料金構成差▲418億円、単価差▲1,789億円
営業費用	原材料費	4,872	7,448	-2,576	-34.6%	数量・原料構成差▲285億円、単価差▲2,291億円
	(粗利)	(5,178)	(4,808)	(370)	(7.7%)	数量・構成差▲133億円、単価差+503億円
	諸給与	1,282	1,174	108	9.2%	退職手当+114億円 他
	諸経費	2,353	2,241	112	5.0%	詳細は別紙参照
	減価償却費	1,089	1,042	47	4.5%	税制改正当期到達影響+8億円、本支管・製造設備他新規取得に伴う償却費増+39億円
	LNG受託加工費	-32	-40	8	-	
計		9,564	11,866	-2,302	-19.4%	
	受注工事収支	-10	-8	-2	-	新設工事▲12億円、その他工事+3億円、間接費減他+6億円
	器具販売等収支	21	35	-14	-40.4%	一般機器▲9億円、TES(システム・機器)▲5億円
営業雑収支		11	26	-15	-59.1%	
附帯事業収支		23	7	16	199.5%	電力販売+11億円
営業利益		520	425	95	22.2%	
営業外収支		20	-26	46	-174.5%	在外関連会社からの受取配当金他
経常利益		540	398	142	35.5%	
特別利益		0	0	0	-	
特別損失		0	10	-10	-	08: 有価証券評価減▲10億円
法人税等		180	137	43	31.3%	
当期純利益		360	250	110	43.5%	

## 料金スライドの収支への影響

	今回10/28	前期実績	増減
料金によるスライド回収	-758	1,216	-1,974
原料費の増加分	-784	1,534	-2,318
差し引き	27	-318	345

## 経済フレーム

	今回10/28	前期実績	増減
原油価格	65.91	90.52	-24.61
為替レート	95.27	100.71	-5.44

金額は基準価格に対する増減額

# 個別 営業主要計数・諸経費内訳 通期見通し（今回対前期実績）

## お客さま件数 千件

	今回10/28	前期実績	増減	
お客さま件数	10,360	10,256	104	1.0%
新設件数	184	212	-28	-13.1%

## ガス販売量内訳 百万m3

		今回10/28	前期実績	増減		
家庭用1件当り販売量(m3)		380.2	388.8	-8.6	-2.2%	気温影響▲0.7m3(▲0.2%)、その他増減▲7.9m3(▲2.0%)
家庭用		3,316	3,368	-52	-1.5%	気温影響▲8百万m3(▲0.2%)、件数差+28百万m3(+0.7%)、その他増減▲72百万m3(▲2.0%)
業務用	商業用	1,901	1,952	-51	-2.6%	
	その他用	887	916	-29	-3.1%	
業務用計		2,788	2,868	-80	-2.8%	気温影響+13百万m3(+0.5%)、その他増減▲93百万m3(▲3.3%)
工業用	発電専用	1,922	2,108	-186	-8.8%	
	発電専用以外	2,920	3,172	-252	-7.9%	
工業用計		4,842	5,280	-438	-8.3%	既存物件稼働減
計		7,631	8,148	-517	-6.3%	
卸供給		2,020	2,073	-53	-2.6%	気温影響+3百万m3(+0.1%)、卸先需要家の既存物件稼働減▲56百万m3(▲2.7%)
合計		12,967	13,589	-622	-4.6%	気温影響+8百万m3(+0.1%)、発電専用▲186百万m3(▲1.4%)、工業用(発電専用以外)▲252百万m3(▲1.9%)
(内大口供給)		6,103	6,516	-413	-6.3%	卸供給(気温影響除き)▲56百万m3(▲0.4%)、その他▲136百万m3(▲1.0%)

## 諸経費

	今回10/28	前期実績	増減		
修繕費	355	346	9	2.4%	製造設備等修繕費増+5億円、メータ修繕費増+4億円(計画数量増)
消耗品費	139	131	8	5.6%	消耗品ガスメーター増(計画数量増)+13億円、消耗工具器具備品▲3億円、業務用換気警報器▲2億円
賃借料	195	195	0	-0.5%	
委託作業費	619	582	37	6.3%	保安全検委託費用増+14億円、ライフバル委託費増+11億円、家庭用営業体制強化+4億円
租税課金	405	431	-26	-6.2%	事業税減(ガス売上高減)▲29億円
需要開発費	255	191	64	33.3%	エネファーム広告費用等増+34億円、ライフバル向け手数料等増+30億円
その他	385	365	20	6.5%	本支管除却費増+18億円、試験研究費増+9億円、電力料減▲4億円(原燃料費調整単価減)

# 個別 営業キャッシュフロー及び設備投資内訳

## 営業キャッシュフロー

実績(今期 対 前期) 億円

	実績	前年同期	増減	
当期純利益	253	-133	386	-
減価償却	539	516	23	4.5%
営業CF(当期純利益+減価償却)	792	383	409	106.9%

実績(今期 対 前回見通し(7/30)) 億円

	今期	前回7/30	増減	
当期純利益	253	230	23	10.2%
減価償却	539	543	-4	-0.7%
営業CF(当期純利益+減価償却)	792	773	19	2.5%

通期見通し(今回10/28 対 前回7/30) 億円

	今回10/28	前回7/30	増減	
当期純利益	360	330	30	9.1%
減価償却	1,137	1,121	16	1.4%
営業CF(当期純利益+減価償却)	1,497	1,451	46	3.2%

通期見通し(今回10/28 対 前期実績) 億円

	今回10/28	前期実績	増減	
当期純利益	360	250	110	43.5%
減価償却	1,137	1,090	47	4.3%
営業CF(当期純利益+減価償却)	1,497	1,341	156	11.6%

## 設備投資内訳

実績(今期 対 前期) 億円

	実績	前年同期	増減	
製造設備	42	30	12	39.3%
供給設備	338	343	-5	-1.4%
業務設備他	38	35	3	8.2%
計	420	410	10	2.4%

製造設備: 扇島工場タンク建設+12億円

供給設備: 安定供給関連▲2億円、設備更新・改修他▲3億円

業務設備他: システム開発他+3億円

実績(今期 対 前回見通し(7/30)) 億円

	今期	前回7/30	増減	
製造設備	42	55	-13	-23.3%
供給設備	338	352	-14	-3.9%
業務設備他	38	57	-18	-32.0%
計	420	465	-45	-9.7%

製造設備: 根岸工場BOG設備▲4億円、製造設備更新改修他▲9億円

供給設備: 需要開発関連▲11億円、設備更新・改修他▲3億円

業務設備他: システム開発▲7億円、設備更新・改修他▲11億円

通期見通し(今回10/28 対 前回7/30) 億円

	今回10/28	前回7/30	増減	
製造設備	154	172	-18	-10.4%
供給設備	814	813	1	0.1%
業務設備他	214	227	-13	-5.4%
計	1,182	1,212	-30	-2.5%

製造設備: 根岸工場BOG処理他▲8億円、設備更新・改修他▲10億円

供給設備: 需要本支管▲3億円、その他供給設備(設備更新入取替他)+4億円

業務設備他: システム開発▲8億円、設備更新・改修他▲5億円

通期見通し(今回10/28 対 前期実績) 億円

	今回10/28	前期実績	増減	
製造設備	154	88	65	73.5%
供給設備	814	831	-17	-2.2%
業務設備他	214	143	69	48.9%
計	1,182	1,065	117	11.1%

製造設備: 扇島工場タンク建設+43億円、根岸工場BOG設備+23億円

供給設備: 需要開発関連▲13億円、その他供給設備(安定供給他)▲4億円

業務設備他: システム開発+25億円、設備更新・改修他+44億円

# 資料の訂正について

- 第1四半期発表(7/30) 配布資料の一部を下記の通り訂正させていただきます。

2009年度スライドタイムラグ見通し(個別)  
 <通期>

【正】 (19ページ下) (億円)

	2009年度 第1四半期 (7/30時点)	当初 (4/28時点)	増減
売上	▲ 709	▲ 1,018	309
原料	▲ 686	▲ 988	302
粗利	▲ 23	▲ 30	7

【誤】 (億円)

	2009年度 第1四半期 (7/30時点)	当初 (4/28時点)	増減
売上	▲ 564	▲ 936	372
原料	▲ 686	▲ 988	302
粗利	122	52	70

<中間>  
 【正】 (21ページ下) (億円)

	2009年度 第1四半期 (7/30時点)	当初 (4/28時点)	増減
売上	▲ 290	▲ 284	▲ 6
原料	▲ 542	▲ 446	▲ 96
粗利	252	162	90

【誤】 (億円)

	2009年度 第1四半期 (7/30時点)	当初 (4/28時点)	増減
売上	▲ 213	▲ 245	32
原料	▲ 542	▲ 446	▲ 96
粗利	329	201	128

※網掛け部分を変更しております。



# 東京ガス株式会社

## ＜見通しに関する注意事項＞

このプレゼンテーションに掲載されている東京ガスの現在の計画、見通し、戦略、その他の歴史的  
事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られ  
た東京ガスの経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうるこ  
とをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、日本経済の動向、原油価  
格の動向、気温の変動、円ドルの為替相場、ならびに急速な技術革新と規制緩和の進展への東  
京ガスの対応等があります。

